



2026/6/10 国スポ県予選準決勝 vs浦和高



2026/6/10 国スポ県予選準決勝 vs浦和高

KEIO SHIKI SENIOR HIGH SCHOOL RUGBY FOOTBALL CLUB

ご挨拶

慶應義塾志木高等学校体育会蹴球部
楽志会（OB会）会長 松木 弘志

武蔵野の自然に囲まれた広大なキャンパス。慶應義塾志木高等学校体育会蹴球部（ラグビー部）は、専用グラウンドと充実したトレーニング施設を備え、日々練習に打ち込んでいます。

近年は、ラグビー経験者の入学・入部が着実に増加し、その成果として昨年、第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会埼玉県予選決勝で川越東高等学校を破り、埼玉県第2地区代表として、創部68年目にして悲願であった花園（全国大会）初出場を果たしました。

花園の舞台でも1回戦で青森山田高等学校に、2回戦では鹿児島実業高等学校に勝利を収めました。準々決勝進出をかけた第3回戦では、強豪・東福岡高等学校を相手に力及ばず敗退しましたが、初出場校としては22大会ぶりとなるベスト16進出を達成し、花園の舞台で大きな足跡を残すことができました。

OB会では、本校への進学を検討されているラグビー経験者の中学生の皆様や、本校に関心をお持ちの皆様を対象に、練習・施設見学会や部員・指導陣との交流会を随時開催しております。学校やチームの雰囲気、充実した練習環境と指導体制を実際にご覧いただき、進路選択の参考にしていただければ幸いです。

当部は、日本ラグビーのルーツ校として120年以上の歴史と伝統を誇る慶應義塾大学蹴球部に繋がるチームです。そして一貫教育校ならではの、受験に左右されない、大らかで恵まれた環境の下、ラグビーに打ち込むことができます。

皆様が慶應義塾志木高等学校体育会蹴球部の新たな仲間となり、花園の舞台を共に目指す日を、部員・指導陣・OB会一同、心よりお待ちしております。

2026年7月

慶應義塾志木高等学校体育会蹴球部概要

創 部：1958年（昭和33年）

施 設：ラグビー専用グラウンド1面、屋内ウェイトトレーニング施設、校内合宿施設

部 員 数：45名（2026年6月現在）

主な戦績（2001年以降）：

全国高等学校ラグビーフットボール大会（花園）出場 1回（2025年度）
全国高等学校ラグビーフットボール大会埼玉県予選優勝 1回（2025年度）
同大会埼玉県予選ベスト4 進出 7回・ベスト8 進出 14回
関東高等学校ラグビーフットボール大会出場 6回
全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会出場 1回

指 導 陣：部長 平 益行（本校教諭 慶應義塾大学卒）

監督 竹井 章（本校教諭 山梨県立日川高校・筑波大学卒）

ヘッドコーチ 山城 鉄平（本校2007年卒）

コーチ 深山 俊介（本校非常勤講師 長崎南山高校・筑波大学卒）

コーチ 猪口 拓（2005年慶應義塾大学卒、元日本代表、元東芝ブレイブルーパス東京）

専門コーチ 富岡鉄平（エクスカバリー(株)社長、元日本代表、
元東芝ブレイブルーパス東京）

伊藤邦行(Alive Rugby Academy 代表、元クボタスピアーズ船橋東京ベイ)

トレーナー 野口雅翔（パフォーマンスゴールシステム(株)）

<https://high-s.keiorugby.com>



リーダー陣抱負



蹴球部全員写真



左から、道垣内、木谷、森、北

慶應義塾志木高等学校

主務: 北 蓮輝 172cm 77kg WTB,CTB

(武蔵野市立第二中学校出身)

リーダー: 木谷 元 178cm 95kg PR

(世田谷区立桜ヶ丘中学校出身)

リーダー: 森 絆斗 170cm 78kg CTB

(国分寺市立第五中学校出身)

リーダー: 道垣内 脩司 178cm 98kg PR

(さいたま市立南浦和中学校出身)

今年のチームの特徴は？

【北】客観的にみても、仲良さがわかるほど部員同士の距離が近いチームです。

【木谷】仲がとても良いので、それをラグビーにも活かし、全員で引っ張っていくチームです。

【森】学年が違ってても距離が近く互いに遠慮せずに楽しくラグビーできるチームです。

【道垣内】先輩、後輩関係なく、仲が良くて互いに高め合えるチームです。

今シーズンの目標

【北】花園出場

【木谷】花園出場

【森】花園出場

【道垣内】全員が勝利に向けて一生懸命プレーする

今シーズンの注目選手は？

【北】1年の森悠樹です。1年にも関わらずスピードのあるステップで必ずゲインをしてくれる存在です。

【木谷】2年生の山本流聖です。キレのあるステップとメンタルの強さがチームを引っ張ってくれます。

【森】2年生の鳴海蒼人です。鋭いタックルと献身的なプレーでチームを支えてくれています。

【道垣内】伊東凱(LO,No.8)です。90kgある身体と瞬足を生かしたボールキャリアでチームに流れを呼び込みます。

幹部としての意気込みを一言

【北】体を張ってチームに貢献しつつ、怪我0でシーズンを終われるように頑張ります。

【木谷】体を張ってチームを花園に導きます。

【森】誰よりも走ってチームの勝利に貢献したいと思います。

【道垣内】PRとして最前線で体を張り続け、チームを勝利に導きます。

慶應義塾志木高等学校 AO(自己推薦)入試制度のご案内

慶應義塾は日本ラグビーのルーツ校です。大学と各付属校の選手・指導陣は誇りを持つと共に、その地位に甘んじる事なく日々進化を続けています。高校蹴球部では花園出場を目標に掲げることはもちろんのこと、大学まで続く一貫強化体制の中で、タイガー・ジャージに相応しい精神と体力を備えた人材育成にも注力しております。

慶應義塾の創設者、福澤諭吉は「獣身を成して、後に人心を成す」と述べています。この言葉の通りラグビーは強いフィジカルと高い戦略性が求められるスポーツとして塾内でも格別の存在であり、毎年早慶戦には非常に多くの学生・OBが詰めかけ熱い声援を送られています。また、蹴球部で得た貴重な経験は大学卒業後にも大いに活かされ、これまで多くの先輩たちが切磋琢磨しながら助け合い、社会人としてそれぞれのフィールドで幅広く活躍しています。

当校では慶應義塾大学への推薦入学制度がある為、大学受験の心配をせず好きなことや興味のあることに思いきり打ち込める環境が整っており、学校側としても学生の個性や意志を尊重する文化が根付いています。そのような恵まれた環境に身を置き、ラグビーを通じて慶應義塾のモットーである「独立自尊」を学ぶ貴重な機会にして頂きたいと考えています。慶應義塾でラグビーをすることは、人生において大変有意義なものになると我々は確信しております。当校のAO入試制度につきまして、この機会に是非ご検討いただくと幸いです。

<個別見学会のご案内>

毎年7月に行われるラグビー祭へのご案内に加え、個別見学会を実施しております。以下の「個別相談会申込フォーム」、または当校蹴球部ホームページ (<https://high-s.keiorugby.com/>) の「ニュース」→「AO入試制度のご案内」に掲載している「個別相談会申込フォーム」より、お気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。

蹴球部OB会によるAO入試に関する「個別相談会申込フォーム」

<https://forms.gle/VueZyJSFDWgu69yH8>

<募集要項>

※2026年度入試概要より抜粋

1. 募集人数 男子約50名

2. 選考方法・時期
第一次選考（書類選考） ※1月上旬頃
第二次選考（面接等） ※1月下旬頃

3. 出願資格（抜粋）

①本校を第一志望とする者

②国内の中学校あるいは国外の日本人学校において第3学年最新（3期制の場合は2学期、2期制の場合は2学期中間あるいは1学期）の評定（9教科5段階評価）が合計38以上の者

③中学校入学後の欠席日数合計が30日以内の者

（ただし、病気・怪我あるいは大会出場等によるやむを得ない長期欠席のために、規定を満たさない場合は、診断書あるいは学校長からの事由書等を添えること）

④学校内外で中学生として充実した諸活動を行い、それを入学志願書によって示すことができる者

※自己推薦入試を受験して入学を許可された場合は、必ず本校に入学しなければなりません。

※自己推薦入試を受験して入学を許可されなかった場合にも、一般入試または帰国生入試に出願して、他の受験生と同じ条件で受験することができます。

4. その他 詳細は慶應義塾志木高等学校の以下サイトをご参照下さい

募集要項: <https://www.shiki.keio.ac.jp/exam/outline.html>

本件に関するお問い合わせ：

慶應義塾志木高等学校体育会蹴球部

楽志会(OB会) 入試担当理事 佐藤、水野

E-mail : keioshiki_rugby_recruit@googlegroups.com

受験体験記

— 先輩からのメッセージ —

AO



伊東 凱（3年）
千代田区麴町中学校出身

Q. 慶應志木高校を知ったきっかけ
学校の先生の紹介

Q. AO入試に挑戦しようと思った時期と理由
中2の夏頃。自分がやってきたことを十分に活かせると思ったから。

Q. 受験対策としてどんな勉強をした？
学校の先生と志願書を書いたこと。家族で面接練習を何度もした。一般入試の勉強も同時にしていた。

Q. 慶應志木高校でラグビー部を選んだ理由
伝統ある慶應ラグビー部のメンバーになりたいと思ったから。

Q. 現在の目標
花園ベスト8

Q. ラグビー部の雰囲気
全員が積極的に意見を言い合い上下の隔たりなく楽しんでプレーできる。

Q. これから受験する後輩に一言
3年間充実したラグビー生活を送れるのが慶應志木ラグビー部です。チームメイトになって一緒にもう1度花園へ行きましょう！

Q. 慶應志木高校を知ったきっかけ
AO入試のあるラグビー強豪校を自分で探した。

Q. AO入試に挑戦しようと思った時期と理由
中学3年生の夏。自分の経歴や強みを最大限活かせると思ったから。

Q. 受験対策としてどんな勉強をした？
面接練習、一般受験の勉強

Q. 慶應志木高校でラグビー部を選んだ理由
タイガジャージを着て花園に出場したかった。

Q. 現在の目標
花園連続出場。

Q. ラグビー部の雰囲気
先輩との距離がいい意味で近く、チームが一丸となって練習に取り組める

Q. これから受験する後輩に一言
慶應志木は文武両道に高校生活を全うすることができる素晴らしい学校です。ラグビー部と一緒に花園を目指しましょう。

AO



猪口 翔（2年）
学習院中等科出身

受験体験記

— 先輩からのメッセージ —

一般



山本 航瑛（2年）

千葉市立稲毛中学校出身
京葉ラグビーフットボールクラブ出身

Q. 慶應志木高校を知ったきっかけ
塾のパンフレット

Q. AO入試に挑戦しようと思った時期と理由
一般なのでなし

Q. 受験対策としてどんな勉強をした？
苦手な数学を重点的にやった

Q. 慶應志木高校でラグビー部を選んだ理由
小学生からやっていたラグビーでタイガージャージを着て花園に行きたかったから

Q. 現在の目標
去年の花園ベスト16をこえる

Q. ラグビー部の雰囲気
学年間で隔たりがなく自由に、楽しくラグビーができる

Q. これから受験する後輩に一言
高校3年間で文武両道を実現出来る素晴らしい学校です。ぜひ入学し、一緒に花園に行きましょう！

Q. 慶應志木高校を知ったきっかけ
父が志木高OBで話を聞いたから

Q. AO入試に挑戦しようと思った時期と理由
中学校3年生の夏。志木高の体験練習がとても印象に残ったことと、AO入試であれば自分の強みや実績が発揮できると思ったから。

Q. 受験対策としてどんな勉強をした？
一般入試の勉強と同時並行でAO入試の願書の推敲や面接練習を重ねた

Q. 慶應志木高校でラグビー部を選んだ理由
幼い頃から慶應義塾の黒黄ジャージに憧れがあり、自分もそれを着て試合に出たいと思ったから

Q. 現在の目標
2度目の花園出場

Q. ラグビー部の雰囲気
先輩後輩関係なくアドバイスし合い、高みを目指す

Q. これから受験する後輩に一言
志木高は素晴らしい設備と仲間にも恵まれていて切磋琢磨しながら成長できる環境です。チームメイトとなって共に高みを目指しましょう！

AO



森 悠樹（1年）

桐朋中学校出身
みなとラグビースクール出身

One More 花園！ もう一度あの舞台へ！



2025/11/15 埼玉県予選決勝 vs川越東



2025/12/27 全国大会1回戦 vs青森山田 第3会場応援席

夢の「花園」出場を目指し、部員一同が日々重ねてきた努力の結実であると共に、2020年度から始めた都内近郊ラグビースクールへのAO入試プロジェクトが大きく貢献しています。2023年度以降昨年度までの3年間、13名(受験者数/18名)がAO入試として合格しました。

そして、2026年度「One More 花園！ もう一度あの舞台へ！」をスローガンとして掲げました。その実現の為に新たな力が必要です。

一緒に花園を目指しませんか。創部70年にむけて！



2025/12/27 全国大会1回戦 vs青森山田



2025/12/30 全国大会2回戦 vs鹿児島実業



2026/1/1 全国大会3回戦 vs東福岡



2026/1/1 全国大会3回戦 vs東福岡